

社会とのつながり



		会話の頻度	頼れる人はいない	
		2週間に1回以下	(子ども以外の) 介護や看病	日頃のちょっとした 手助け
単独世帯	高齢男性	14.8%	58.2%	30.1%
	高齢女性	5.4%	45.1%	9.1%
	非高齢男性	8.3%	44.4%	22.7%
	非高齢女性	4.4%	26.8%	10.1%
夫婦のみ	共に高齢者	2.4%	30.7%	7.0%
	一方が高齢者	0.6%	22.9%	6.3%
	共に非高齢者	1.1%	22.1%	6.6%
二親世帯 (3世代)		0.5%	18.9%	3.0%
二親世帯 (2世代)		0.6%	21.7%	5.1%
一人親世代 (3世代)		1.6%	28.8%	8.8%
一人親世代 (2世代)		1.8%	41.7%	11.5%

コロナ禍は社会的孤立の問題も浮き彫りにした。病気のとき、もしも周囲に頼る人がいなかったとしたら、どうすればいいのか。国立社会保障・人口問題研究所の調査では、一人暮らしの高齢男性ほど孤立度が高かった。同じ高齢者でも女性は社会とのつながりを維持し、男性ほどには孤立していない様子がうかがえる。英国が2018年に「孤立担当大臣」を置いたことも記憶に新しい。困難な状況に陥ったとき、家族以外にも頼れる人はいらるだろうか？

国立社会保障・人口問題研究所「2017年生活と支え合いに関する調査」より作表